

地域と学校がパートナーとなって子どもの成長を支える

コミュニティ・スクール通信

岩手県教育委員会事務局
生涯学習文化財課 地域学校連携担当
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸 10-1
TEL 019-629-6173
FAX 019-629-6179
E-mail DB0005@pref.iwate.jp

令和5年6月23日発行 第27号

6/9 盛岡教育事務所管内 「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム

盛岡教育事務所のフォーラムは、「地域と学校の実態に合わせた新しい仕組づくり」をどのように進めたらよいか、先行事例の発表や、講話・演習を通して理解を深めることを目的として開催されました。コミュニティ・スクールの導入構想や導入後の機能強化について情報交流する場が多く設定され、参加者同士の協議が大変盛り上がり、学びの多い研修会となりました。



事例発表「小・中学校が連携・協働した地域の実態に合わせた新しい仕組づくり」
発表者：盛岡市立土淵小・中学校 副校長 高橋 知志 氏



- 土淵地区には教育振興運動、地区活動推進協議会等、様々な組織があり、それぞれ活動を行っていた。コミュニティ・スクールを導入するにあたり、教育振興運動の組織と学校運営協議会（盛岡西峰学園学校運営協議会）の組織を一本化した。
- 地域にお願いする場合は、「やってよかったな」と思えるコンテンツを準備したい。
- コミュニティ・スクールを推進する中で、地域の声を吸い上げ、特色ある学校づくりを進めることで、地域を盛り上げ、子どもたちが地域で暮らしたいと思えるようにしたい。

講話・演習「学校と地域の実態に合わせた仕組づくりについて」～紫波町での事例を通して～
講師：紫波町教育委員会事務局 社会教育指導員兼 CS コーディネーター 佐々木 勉 氏



- コミュニティ・スクールは学校教育で、地域学校協働本部は社会教育でそれぞれ推進され、現在は一体的に推進するよう取り組んでいる。
- 学校運営協議会は推進母体で、地域学校協働本部は、実務組織としての役割がある。
- 学校と地域の実態に合わせた仕組づくりを推進するためには、自分たちの周りにある教育資源を効果的に活用し、展開する必要がある。
- 受け身ではなく、主体的な姿勢で協議に臨むことが大切。
（どうする？から、どうしたい！へ）
- 学校運営協議会は、地域からの願いを聞くことで、地域の核として機能することができる。

参加者から （一部抜粋）

- ・先行事例をもとに、学校運営協議会と地域学校協働活動について理解を深めることができた。また、近隣中学校と座席を近くにしていただいたことで、委員のこと、日程のことなど、一緒に考えていく必要があるものについて確かめることができた。
- ・本校では教育振興運動の組織を生かすというより、学校関係者委員会を母体として協議会を立ち上げようとしている。その方向で大丈夫であることも良くわかった。
- ・地域の困り感を吸い上げるため、CSコーディネーターと一緒に考えていきたいという新しい視点を持った。教育振興運動とCSにかかわる委員の一本化や、子ども・地域を核とした学校とのかわりについては、もっと勉強したい。盛岡の中でも地域性が強いので、ぜひ、地域と協働で児童を育てていきたいです。
- ・学校運営協議会の役割の重要性について改めて確認することができた。子どもたちが自分たちの学校に誇りを持ち、一度、地域を出たとしてもまた、この地域に戻ってきたい、この地域で暮らしたい、自分の子どもも自分が卒業した学校に入学させたい、といったそんな思いを抱けるような学校づくりに努めたい。
- ・子ども・学校・地域、みんながWIN-WINになれるコミュニティーの理念について本校でも推進していきたいと思った。組織としてどういう姿を目指すのか、具体的に話し合うためのCSポートフォリオは大変ありがたく思った。
- ・今年度CSを立ち上げる本校にとって、とても意義のある研修会となった。CSが地域・保護者・学校そして子どもたちにとって、意味のあるものになるようにCSの本来の目的を心にとめ、熟議を大切に進めていきたいと思った。本校の今後のCSが楽しみになった。
- ・学校のニーズ一方向ではなく、地域のニーズと双方向で考えていくことも大事であることが分かった。高橋先生の地域の方と一緒に考え、話す場ができたという言葉にCS導入のためのモチベーションが上がる思いがした。
- ・CS設置の主旨等を改めて理解し、体制等の在り方について考える機会をいただいた。事例発表を通して、教育振興運動の理念を大切にしながら、関係者がじっくり地域の子どもたちの教育課題について話し合っ、取り組んでいくことが求められているのだと感じた。
- ・学校運営協議会制度導入の背景等も知ることができ、大変学びの多い機会となった。他地区の実践、近隣校の現状と実践から、地域とともにどんな学校づくり、地域づくりができそうか、たくさんのヒントをいただくことができ、大変有意義だった。見て、聞いて、話して、楽しく学びの多いひと時となった。

本通信は下記ホームページに掲載しています。（※ダウンロード可能）
岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」
<https://manabinet.pref.iwate.jp>



「まなびネットいわて」には、文部科学省が作成したパンフレットや全国の事例紹介があります。また、岩手県が作成した資料や県内の事例等の紹介もあります。ぜひ、ご覧ください。